

花きの県別生産出荷概況(8月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	8月出荷見込み 千本		主産地	8月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
輪 菊	青森県	14.3 (102%)		930 (101%)	530 (101%)	五所川原 三戸町	50	30	20
	秋田県	32.3 (110%)	精の一世 岩の白扇 精の曲 スーパーイエロー 精菱	2,500 -	1,100 -	JA秋田やまもと JA秋田みなみ JA秋田しんせい JA秋田おぼこ JA秋田ふるさと	90	5	5
	福島県	16.6 (90%)	スーパーイエロー サマーイエロー 深志の匠 千穂、精菱 精の曲	900 (107%)	710 (107%)	会津みどり いわき市	50	30	20
	栃木県	39 (99%)	精の一世 岩の白扇 精の枕	1,800 (105%)	600 (105%)	大田原 小山 真岡 塩谷	40	30	30
	山梨県	4.1 (100%)	スーパーイエロー	55 (92%)	43 (93%)	笛吹市 (八代町)	30	30	40
	愛知県	- -	岩の白扇 精の一世 フローラル優花 精の枕 夏のきらめき	27,000 (102%)	15,000 (100%)	愛知みなみ ひまわり 西三河 あいち中央、あいち知多 愛知西	45	30	25
	福岡県	12.7 (105%)	優花(85%) 精の一世(6%) 夏日和(9%)	3,830 -	1,200 -	八女電照菊	58	20	22
トルコギキョウ	秋田県	10.8 (104%)	ロゼーナシリーズ ピッコロシリーズ セレモニーシリーズ	536 -	332 -	かづの、秋田しんせい 秋田おぼこ、おものがわ 秋田ふるさと こまち、うご	60	20	20
	山形県	30.4 (101%)	ロゼーナシリーズ、エクロシリーズ ピッコロシリーズ、セレモニーシリーズ ファイナルシリーズ、ホージャシリーズ	1,665 (90%)	606 (90%)	JA新庄市 JA新庄もがみ JA山形もがみ JA鶴岡 JA庄内たがわ	40	30	30
	福島県	10.6 (92%)	白八重 ピンク八重 パス紫	600 (80%)	500 (80%)	あいづ 会津いいで 会津みどり	50	30	30
	千葉県	5.0 (100%)		40 (100%)	30 (100%)	館山市 鴨川市 南房総市(丸山、千倉)	60	30	10
	長野県	- -	八重各品種 パステルムラサキ パステルピンク	2,970 (102%)	760 (102%)	北信 松本 伊那 諏訪	40	30	30
カーネーション	北海道	43.7 (95%)	チェリーテツシノ ピンクビジュ スターチェリー クレオス	34,945 (99%)	- -	七飯町 (JA新はこだて)	40	40	20
	長野県	- -	アニー・アメリカ・コルサ・ジュリエット ローズ・シルクロード・ピンクシルクロード メグ・ブラドミント・オレンジマジック パックス・こまち・アモーレ・バーバラ・ミルキーウエイ・LPバーバラ・グリーン ティ・オータム・イマジン・ボレロ	6,980 (100%)	3,250 (100%)	佐久 諏訪 松本	40	35	25

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
輪 菊	生育は概ね平年並み。病害虫の発生もほとんど見られない。	現状 周年産地に加え、高冷地の品物も徐々に増え始める。前半の新盆需要が取り引きの中心になるが、需要期については、品薄で推移し安定した販売が出来た。盆需要後の中後半についても、目立って荷物がまとまることなく、安定相場で推移した。
	若干の遅れあり。精菱は生育にばらつきがあり、お盆後も残りそう。精の曲はピークが8月9日出荷になる。ここ数日の高温により、雨が欲しいところ。	見通し 白菊生産が中心の周年産地の出荷量は、極端な増減なく例年並の入荷量が見込まれる。色菊生産者が中心の高冷地の路地産地は現時点では若干の遅れが見られる。高齢化が進んでいることもあり、昨年よりやや少ない入荷量が見込まれる。販売については、盆需要期中心に堅調な取り引きを予想する。
	会津みどり：7月咲き(ハウス)は、品質は概ね良好も平年よりも生育遅れで現在も花が残っている。8月咲きについては草丈等生育良く、芽かき作業等が行われているところ。アブラムシとハダニが散見される。 いわき：数量未確定も7月下旬から出荷予定。	大田花き FAJ 前半、旧盆需要で引き合い高まる。白菊は旧盆以降、精の一世中心となる見込み。 第一花き お盆・業務中心の流れ、色バランスにもよるが概ね例年並み@70
	生育は平年並み。 お盆に向けては計画通りの出荷となる模様。 白系は精の一世、黄系は精の枕が中心になる。	
	生育は一週間ほど遅れている。	東京フラワーポート 旧盆需要での引き合い多く堅調な取り引きが見込まれる。 東日本板橋花き 8月盆に向け一定量の入荷が見込まれそう。お盆商戦で品薄感あり。 世田谷花き 前期も暑さの影響で、メッキリか続いた。旧盆の為、単価は強いところ。
トルコギキョウ	各産地生育にばらつきあり。病害虫等はなし。	現状 冷え込みの影響で遅れていたものが8月に入り、高温が現状続いており、生育は追い付き下旬へ向け山形、長野中心に増加。販売面では数量増加とともに厳しい販売が続く。
	8月出し作型の生育は、産地によってはやや遅れていたが、梅雨明けが早く、高温で経過しているため、生育は回復傾向にある。切り花品質は、病害虫の発生が少なく、良好と見込まれる。	見通し 7月に入り、高温が続いており前進傾向となる可能性が出て来ているが、重要期へ向けには数量はある見込み。今後の天候の状況次第ではあるが、高温の影響による品質低下は避けたいところ。お盆の需要・季節節材としての動きを中心に安定した取り引きが見込まれる。
	8月盆に向けて出荷は増量傾向。極早生・早生種の生育は春先の遅れを取り戻し平年並みまで回復も、一部圃場にて高温障害により花卉変色や葉焼けが見られた。八重品種が全体量の7～8割の出荷となる見込み。	大田花き 第一花き 業務・お盆中心の販売、入荷状況にもよるが概ね例年並み@100
	生育は順調で切り花品質も良好。 神戸地区は海ほのか、ロジーナシリーズなど。 神戸地区は7月20日を目標に量が減少し、8月上旬終了予定。南房地区は8月中旬で出荷終了予定。	東京フラワーポート 相変わらず良い動きがお盆需要も含め見込まれる模様 東日本板橋花き 8月は7月の遅れ分がピーク。
	6月までやや遅れ傾向にあったが、その後の高温で生育が進む。8月出荷は順調に推移。	世田谷花き 遅れていた山形産などの出荷が増えて、潤沢になりそう。
カーネーション	若干生育の遅れは見られたが、天候の回復により例年並の出荷量で推移。今後は天候しだいでの前進出荷になる可能性がある。	現状 上旬は長野産の一番花ピークとなりスタンダード、スプレー共に潤沢入荷が続いた。昨年に比べ他の季節品目も順調な出荷で比較的カーネーションの需要としては安定基調での展開。東京盆以降はピークを過ぎたものの猛暑の影響もあり低調市場で推移。中旬からは北海道産が増加に転じている。
	作付けやや減少。1番花のピークは過ぎたが、8月は安定数量出荷を見込む。	見通し 大田花き 8月盆需要については、長野産は大きく増加とはならないものの、北海道産については安定供給が期待できる。台風の時期でもあり仏花生産地への影響等次第では需給バランスが崩れる恐れあり。